

## 令和五年度 東京都立大泉桜高等学校 卒業証書授与式 校長式辞

三月になり春の雪が降りながらも、桜の蕾は確実にその命をふくらませ、花開く日を待ち望んでいます。同じように、春を迎え花開かんとする卒業生を祝い、東京都立大泉桜高等学校、第十七回卒業証書授与式を、来賓の皆様、保護者の皆様御列席のもと挙行できること、校長としてうれしく思っています。とりわけ、今年は数年ぶりにさまざまな制限を設けることなく、声高らかに歌うことができ、また今日の卒業生の姿を、在校生とともに見守ることができることに喜びを感じています。

十七期生のみなさん、卒業おめでとうございます。先ほど卒業証書を読み上げて渡しましたが、卒業証書には「本校所定の課程を修了したことを証する」と書かれています。これは、卒業を証明するだけでなく、みなさんが本校に学び、生きた証しでもあります。卒業生のみなさんが入学した三年前は、さまざまな制約の中で、不自由な高校生活のスタートでした。しかしみなさんは、自らの健康、周りの人たちの健康を守りながら、この大泉桜高校で生活し、そして今日、卒業の日を迎えました。その努力をたたえる、それが十七期生のみなさんに渡した卒業証書の意味です。

そして、「本校所定の課程を修了したことを証する」という言葉が、他の高校と違った意味をもっているのは、本校が単位制高校であるという点です。みなさんは、一年次から、キャリアガイダンスの授業や、個人面談、三者面談などで、自分の将来に向けてさまざまな選択をしてきました。科目選択、進路選択、受験科目の選択、受験する学校や会社の選択。本校での学習は選択の連続でした。本校のスクール・ミッション、学校としての使命には「単位制の特色を生かした多様な選択科目による教育活動を通して進路実現を図り、社会を生き抜く生徒を育成します。」と書かれています。科目選択に当たっては、自分と向き合い自分の将来の夢を探り、自己理解を深め、先生や家族と相談し、選択をしていったことと思います。その成果として、本校所定の課程の修了があり、みなさんは進路を決定し卒業を迎えました。

人生は、日々の生活は、まさしく選択の連続です。朝起きて、髪形をどう整えようか、制服をどう着ていこうか、何時に家を出ようか。そうして毎日私たちは選択を経て一日を過ごしています。何を題材に絵を描こうか、どんな色を塗ろうか、その色は、何色と何色の絵の具をどんな割合で混ぜたらいいか、もう一回重ねて色を

塗ろうか、など絵を描くにもさまざまな選択があります。先日、卒業制作展を見に行きましたが、どの作品も見ごたえあるものでした。そしてその作品は、制作者の選択の成果、結晶であったと、私は感じました、そしてそれは、本校の生徒が、この大泉桜高校に学び、ここに生きた証であると考えます。絵だけではありません。スポーツの場面でも、どうやって相手と勝負しようか、どうシュートを打とうか、ダンスではどのタイミングで体をひねろうか、など、無意識のうちに選択をしているはずです。そしてその成果が、試合の結果や演技に結実していく。また、達成感や充実感へとつながっていく。それは大泉桜高校での選択の成果であり、学び、生きた証であります。

みなさんは、多様な科目のある単位制の本校で、多くの科目を学びました。よく世間で話題になるのは、高校で学んだ科目や授業について、「社会で活用していないので、学んで無駄だった」という声です。私は、こう考えます。人生に無駄なものなど何一つない。あるのは、無駄にするか、しないかだ、と。これからの人生、大泉桜高校で学んだことを、無駄なく生かし、困難を乗り越え自分と他人の生活を豊かにし、よりよい社会を築いていってください。みなさんは、様々な選択を経験した大泉桜高校の卒業生だからこそ、本校で、学びや体験を無駄にしない知性や感性を身につけたはずです。

本校での学習だけでなく、友達との会話、何気ない日常の時間、部活動や学校行事での思い出。すべてがみなさんの糧となり、みなさんの今をつくっています。そしてそれを明日の自分につなげてください。さまざまな選択を経て、本校所定の課程を修了する今日までの三年間に、無駄なものなど何一つない。すべてがみなさんの糧となり、よりよい人生を歩むことができるよう、祈っています。

保護者の皆様におかれましても、本日卒業の日を迎えましたことをお慶び申し上げます。御家庭でも、卒業生が今日の卒業までさまざまな選択を経て、自らの力で卒業の日を迎え、自分の進路を実現させたことを、たたえていただきたいと思います。

これまでの三年間、御家庭でも生徒をあたたく見守り、本校へ毎日送り出していただいたこと、感謝申し上げます。また、御家庭の御協力あってこそ、今日の卒業生の立派な姿があり、本校の教育も成果を上げることができました。これまで本

校の教育に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

結びとなりますが、十七期生の卒業にあたり、教職員を代表して、保護者の皆様、地域の皆様の本校の教育への御理解、御協力に感謝申し上げます。そして卒業生のみなさんの、健康を祈り、さらなる活躍をお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和六年三月十二日

東京都立大泉桜高等学校 校長 尾崎 肇